

医療疫学・統計学

Health Care Epidemiology and Statistics

単位数：5 単位

○廣瀬昌博 教授：地域医療政策学 熊倉俊一 教授：地域医療教育学
神田秀幸 教授：環境保健医学 河村敏彦 准教授：医療情報部

1. 科目の教育方針

「医療疫学・統計学」は、地域医療・地域包括ケア指導者育成コースの必須科目の一つで、地域の健康（public health）を考える際の研究を遂行する上でもっとも基本的で必須の疫学、医療統計学の考え方を学ぶ。地域医療・地域包括ケアにおける指導者、とくに、総合診療を担う指導者として活躍できる資質の一つとしてリサーチマインドを持つことが求められている。そのリサーチマインドとは、地域やわが国の医療が直面する様々な問題点や課題をおのずから抽出し、その解決策を提案するために、研究を遂行できる能力を持つことで、その能力を修得するとともに、地域におけるグローバルリーダーとして必要な教育技法や国際的視野を涵養するための方策等について学ぶ。また、高齢者に関連する認知症、生活習慣病や加齢と動脈硬化、がんなど地域包括ケアに密接に関連する疾患についての臨床研究や疫学研究または、コホート研究等を遂行していくために必要な専門的知識を修得し、自立して研究活動を実践できる能力を修得する。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 医療疫学・統計学の基本的考え方、コンセプト、専門用語、方法論について学ぶ。
- 2) 地域医療・地域包括ケアが抱える課題に対して、自らその課題を理解し、抽出できる方法を学ぶ。
- 3) 安全で円滑な医療・ケアを提供するために信頼される医療人としての医療倫理感とプロフェッショナリズムを身につける。
- 4) 日常診療やケアの問題点や課題について、もっとも相応しい方法により、研究を適切に遂行することができる。
- 5) 研究結果から得られた提案が地域医療・地域包括ケアに資するために、的確で適切な統計学の方法を修得する。
- 6) 地域医療・包括ケアに関する臨床研究を医療倫理規範に基づき遂行できる。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 医療疫学・統計学に対するアレルギーをなくす。
- 2) 解決すべき地域医療・地域包括ケアの課題の例を挙げることができる。
- 3) 地域医療・地域包括ケアの課題に対する解決策の研究例を提示できる。
- 4) 自立して研究活動を実践するために必要な事項を説明できる。
- 5) 疫学、医療統計学に関する教育研究技法を修得し、医療者の教育を実践できる。
- 6) CITI Japan プログラムを受講し、研究における倫理と利益相反を説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

4. 成績評価の方法

プレゼンテーションの内容、討論への取り組み状況、課題レポート、ショートクイズ等により、行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

講義の際に紹介する。

6. 教育内容

回	授業内容	担当
1	医療疫学・統計学序論	廣瀬昌博
2	医療統計学の基本	廣瀬昌博
3	臨床研究計画への心得（WS形式）	廣瀬昌博
4	研究計画と医療倫理	廣瀬昌博
5	疫学の基本と応用	神田秀幸
6	予防医学と疫学	神田秀幸
7	疫学研究方法論	神田秀幸
8	日常診療と臨床疫学	廣瀬昌博
9	統計的品質管理	河村敏彦
10	統計的プロセス管理	河村敏彦
11	地域をフィールドとした疫学・臨床研究	熊倉俊一
12	生活習慣病の疫学・臨床研究	熊倉俊一
13	医師の地域定着に関するエビデンス	熊倉俊一
14	地域医療・地域包括ケアにおける臨床研究の実際	廣瀬昌博
15	各種研究方法と考え方・医療倫理および研究倫理	廣瀬昌博